

第4回鳥取市青谷町地域生活交通協議会議事概要

日時：令和3年7月2日（金）19：00～

場所：青谷町総合支所第2・3会議室

○質疑、意見等

<朝・夕のバス利用状況について>

①現在、日置方面は日置線、養郷線の2便、勝部方面は勝部線、栄町線の2便走っている。バスの定員次第では、日置方面、勝部方面で各1便での運行ができないのか。運転手確保等の問題で大型バスが確保できない場合、中型バスも考えてはどうか。

⇒大型バスの定員は約40名程度。

通学限定で考えるとなんとか1便での運行も可能です。ただ、少数だが一般の利用者もいるのでちょっと厳しいと思います。現行の路線バスになった2便体制の運行がいいと考えます。

②説明で、市の有償バスもしくはスクールバスとあったが、スクールバスでも一般利用者も乗車できるのか。

⇒条例等で規定すれば一般の方も利用できます。今後の生活交通を検討していく中で、そういった仕組みが必要となる場合があると思われれます。

③今大型で考えているが、中型バスでいいのではないか。

⇒今後、バス会社等から車両情報の収集を行う中で、車両構造によってバスの定員も異なるので補助席使用の可否も含め、代替バスを検討していきます。

④通学を中心に検討されているが、JRの乗り継ぎも考慮する必要があるのではないかと。

⇒具体的な時間等は、JRの時刻表や関係者の意見を伺いながら再度検討した上で、利便性を確保していくよう考えたいと思います。

⑤今の運行状況、子供たちの利用状況から、子どもたちが利用する上で合理的でバスも最小限で運行できるというシミュレーションの話と考えるといいのか。

また、現在市内でスクールバスを運行しているところはあるか。

⇒これまでの協議の中で、朝夕の通学手段と日中の交通手段は切り離して考えるという結論になったところです。

それを踏まえ、この運行表を作ってみたところで、バスの種類も含めた詳細については今後検討していき、スクールバスになるのか、市有償運送になるかといった方向性を出すこととなります。

スクールバスについては、現在市内で運行は行っていません。

⑥パターンAやパターンBは、バス2台で早い便と遅い便で計4便を検討されているが、大型バス2台で2便での運行はできなかったのか。

⇒駅利用者が間に合わなくなる可能性もあり、また事業者に行った話で、大型バスの運行は思った以上に労力が必要なこと、大型免許は持っているが運転したことがなく自信が無い人もいて、運転手の確保が難しいとのことでした。将来的に走らせるバスの大きさも決まっていないので、現行路線バスを踏襲した4便運行で考えたところです。

⑦運行計画やダイヤの詳細は、今後、学校やPTAと協議していく予定か。

⇒この案をたたき台にして、詳細は学校や関係者と詰めていきたいと考えます。

<日中の生活交通について>

①現在の絹見バスの定員は何名か。

⇒10名以上は乗れる車両です。

②現在、日中に空バスを運転している時間帯もあるので、運行時間の工夫や便数を調整すれば、絹見バス程度の車両でも可能と思う。

⇒アンケート結果や路線バスの運転手の聞き取りでも、日中の1便当たりの利用者が10人を超える状況はほとんどなく、利用者ゼロという時間帯もあります。

絹見バスは、定時・定路線運行でも予約が無い場合は走らないため、効率的な運行が可能であり、こういった形態も検討できればと考えます。

③利用者としては、共助交通と市有償バスでどちらが利用料金が安いのか。また、定期券が使えるのかなど教えてほしい。

⇒共助交通と市有償バスともに、既に市内で実施している地域を参考にしながら料金を決めていく必要があると考えています。共助交通は、市有償運送に比べ事業者が料金や路線など独自に設定ができます。他地域でも通学用の交通手段として採用されており、定期券の発行も行われています。

④他県には、公共交通空白地帯のベンチャー企業が交通サービスで収益を上げている事例がある。

そういったところの話しを聞いて参考にされてはどうか。

⇒先進的な事例を調べることも重要なことだと思うので、そういった情報をご存じて

あれば、情報提供いただけると助かります。

⑤共助交通の車両購入費と、運行経費の補助について、どういう部分が対象なのか。共助交通と市有償バスとの補助内容の違いについて教えてほしい。

⇒共助交通の支援制度は2種類あります。

一つが運行に関わる支援で、人件費、燃料代、車両の維持費等すべての経費が対象で補助率は10/10、上限はありません。もう一つは車両購入費支援で上限450万円、補助率10/10です。

市有償バスの支援制度は、人件費を含めたすべての運行経費から、運賃収入を差し引いた不足額すべてを委託料として支払っています。

⑥三つの運行提案について、それぞれメリット、デメリットがあり、細かい情報が必要と思うので、次回の会議にでも資料を出して欲しい。

⇒各制度の違いや特徴を比較した表を、次回資料に準備します。

<その他>

①希望として、今日の資料では午前7時20分ごろからバスが出発する案だが、これよりも1本早いバスの利用者もいるので、運行時間についてはその辺も検討してほしい。

②共助交通の運転手の人数について、1台あたりの人数規定があるか。

⇒運転手の人数制限規定はありません。